

会 議 要 旨

会議の名称	世田谷区教育振興基本計画策定委員会（第3回）
開催日時	令和5年12月1日（金曜日） 午後4時00分から 午後4時45分まで
開催方法	オンライン開催
出席者	教育長、教育政策・生涯学習部長、学校教育部長、教育総合センター長、区立小学校長代表、区立中学校長代表、区立幼稚園PTA連絡協議会代表、区立中学校PTA連絡協議会代表、学校運営委員代表（中学校）、社会教育委員代表、スポーツ推進部長、保健福祉政策部長、総合支所地域振興課長代表、教育総務課長
欠席者	区立幼稚園長代表、区立小学校PTA連絡協議会代表、学校運営委員代表（小学校）、青少年委員代表、子ども・若者部長、世田谷保健所所長

会議概要・質疑事項・回答内容	
1	パブリックコメントの実施結果について・・・事務局より説明
2	児童・生徒の意見募集の実施結果について・・・事務局より説明
3	教育振興基本計画（素案）からの主な変更点・・・事務局より説明
4	世田谷区教育振興基本計画（案）について・・・事務局より説明
	意見交換【「子どもを主体とした教育への転換」について】
	（出席者より） 【区立小学校長代表】 ・「子どもを主体とした教育への転換」の説明に「子ども自身が表明した意見や考えが反映できる仕組みを整えていく。」と記載されているが、具体的な仕組みは考えているのか。
	（事務局より） ・現段階で一律の仕組みは設けていないが、今後、教育委員会事務局各課で施策を進めていく上で、当事者である子どもたちの意見を聞く機会を設け、施策や事務事業に反映していくことを想定している。 （教育長より） ・これまで、総合教育会議や生徒会サミットなどで、子どもたちから多くの意見をもらった。子どもたちは、自分たちの意見が学校にどのように反映されるか注目している。子どもたちから意見があったときは各学校で実現に向けて整理し、教育委員会事務局とともに施策への反映に取り組んで欲しい。
	意見交換【子どもたちへの周知について】
5	（出席者より） 【区立幼稚園PTA連絡協議会代表】 ・児童・生徒の意見募集の実施結果4（3）②③で、子どもたちに読んで欲しい発行物をカラフルにしたりルビを振ったりすると記載しているが、計画を子どもたちにわかるように書き換える時間はもったいない。それよりも、多くの大人たちが世田谷区で過ごす子どもたちの「もっとこうなったらいいな」という思いを反映しようと頑張っていることや、子どもたちが意見を大人に伝えられる場があり、意見をもとに変わることがあることを伝えるようにした方が良い。

(事務局より)

・今後発行する計画の概要版では、計画の内容を記載するだけでなく、子どもたちの意見を求めていることや、意見を学校生活に反映していくことを記載していきたい。

(教育長より)

・子どもたちにも内容は理解できるので、計画や概要版などを無理に簡易な表現にする必要はないと思う。また、子どもたちが「意見を言っても意味がない」と感じ意見を言う意欲を失わないように、どのように意見を反映したかを伝えることが大切だと思う。

意見交換【不登校支援の充実について】

(出席者より)

【区立中学校PTA連合協議会代表】

・ほっとスクールに行きたくても行けない子どもが多い。学校としても受け入れる場所がないと聞く。どれくらいの期間でどの場所にできるのかが伝わると、不登校の子どもや、その保護者は少し安心できるのではないかと。

(教育総合センター長より)

・ほっとスクールの開設場所を探すことが困難で、計画として示すことはできないが、令和6・7年度に「ほっとルーム」を全校に設置する計画である。まずは、学校の中に子どもたちの居場所をつくっていきたいと考えている。

事務局
(会議要旨作成所管)

教育総務課教育計画・事務調整